経済学研究科

修士学位申請論文審査基準

博士前期課程の学位授与方針により、審査のうえ、「修士（経済学)」の学位を授与する。

論文審査にあたっては、以下の項目を考慮する。なお、論文は日本語または英語によるものとする。

１）研究課題が明確であり、かつ、学位授与方針に照らして適切であること。

２）研究課題に合致した手法が選択されていること。

３）当該分野の先行研究が踏まえられていること。

４）研究内容に論理の矛盾や飛躍がなく、正確かつ明確に記述されていること。また、執筆者が学位授与方針に照らして、当該分野に関する専門的な知識及び能力を身に付けていることを証明するものであること。

５）結論が正確かつ明確であること。

特定の課題に関する研究成果報告書についての審査基準

１）データの専門的処理やソフトウェア開発、システム構築などの実践的・実務的な内容に関する事例研究を中心とするものであり、研究課題が明確であり、かつ学位授与方針に照らして適切であること。

２）研究内容に創意工夫がみられること。

３）当該分野の先行研究を参考にし、資料、調査等を十分に活用していること。

４）研究内容が、正確かつ明確に記述され、全体の構成にまとまりがあること。また、執筆者が学位授与方針に照らして、当該分野に関する専門的な知識及び能力を身に付けていることを証明するものであること。

５）特定の課題に対して説得的な解答を与えていること。

以下のような課題を想定する

・機械学習による SNS のネガティブな投稿防止システムの提案

・エージェントベースドシミュレーションのための Python 言語によるシステム設計

・iPad による日本語習得支援システムの構築

課程博士学位申請論文審査基準

本審査基準は課程博士を対象とするものである。

博士後期課程の学位授与方針により、審査のうえ、「博士（経済学)」の学位を授与する。

論文審査にあたっては、以下の項目を考慮する。なお、論文は日本語または英語によるものとする。

１）研究課題が明確であり、かつ、学位授与方針に照らして適切であること。

２）研究課題に合致した手法が選択されていること。

３）当該分野の先行研究が精査されていること。

４）研究内容に論理の矛盾や飛躍がなく、正確かつ明確に記述されていること。また、執筆者が学位授与方針に照らして、豊かな学識及び当該分野に関する高度な能力を身に付けていること

を証明するものであること。
5）結論が正確かつ明確であること。
6）主要部分が、学外のレフェリー制度のある学会誌等に既に発表されたもの、あるいは、刊行予定であること。
7）当該分野においての学術的貢献があること。

論文博士学位論文審査基準

本審査基準は論文博士を対象とするものである。

大学院学則及び獨協大学学位規程に定めるところにより、獨協大学大学院経済学研究科の博士後期課程を修了していない者が、論文を提出してその審査に合格し、かつ、大学院博士後期課程の修了者と同等以上の学識があると認められた場合には、「博士（経済学)」の学位を授与することができる。

論文審査にあたっては、以下の項目を考慮する。なお、論文は日本語または英語によるものとする。

1）研究課題が明確であり、かつ、学位授与方針に照らして適切であること。
2）研究課題に合致した手法が選択されていること。
3）当該分野の先行研究が精査されていること。
4）研究内容に論理の矛盾や飛躍がなく、正確かつ明確に記述されていること。また、執筆者が学位授与方針に照らして、豊かな学識及び当該分野に関する高度な能力を身に付けていることを証明するものであること。
5）結論が正確かつ明確であること。
6）主要部分が、学外のレフェリー制度のある学会誌等に既に発表されたもの、あるいは、刊行予定であること。
7）当該分野においての学術的貢献があること。